中国地域歯科医療管理学会
令和８年度学術大会
プログラム

『10年後の地域歯科医療体制を考える』

令和8年11月1日（日）

９：00～15：45

（９：00～９：40　総会）

山口県歯科医師会館

〒753-0814　山口市吉敷下東一丁目4番1号

TEL：083-928-8020　FAX：083-928-8025

中国地域歯科医療管理学会

公益社団法人　山口県歯科医師会

ご　挨　拶



令和８年度学術大会長
山口県歯科医師会会長　　小　山　茂　幸

令和８年度中国地域歯科医療管理学会総会・学術大会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本大会のメインテーマは、「10年後の地域歯科医療体制を考える」です。急速な人口減少と少子高齢化は、地域社会の姿を大きく変え、歯科医療においても、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士をはじめとする人材の確保、診療所の承継、在宅歯科医療への対応、中山間地域における歯科医療提供体制など、深刻な課題をもたらしています。特に中国地域は、中山間地域や人口減少地域を多く抱えており、地域ごとの実情に即した持続可能な仕組みを、具体的に構築していかなければなりません。

10年後の体制を考えることは、単に将来を予測することではなく、目指す地域歯科医療の姿から逆算し、今、何に着手するかを定めることでもあります。デジタル技術や口腔内スキャナー、遠隔での情報共有などを有効に活用する一方、診療、訪問、巡回を実際に担うのは「人」です。デジタルとアナログを適切に組み合わせ、地域の歯科医療従事者、行政、医科・介護関係者が連携して役割を担い、住民が住み慣れた地域で必要な歯科医療を受けられる体制を築くことが重要です。

歯科医療は、疾病への対応にとどまらず、食べること、話すこと、社会とつながることを支え、生涯にわたる健康と生活の質を守る基盤となるものです。山口県歯科医師会としても、在宅歯科医療、巡回診療、医科・介護との連携、人材育成に積極的に取り組み、誰一人取り残さない歯科医療提供体制の構築に努めてまいります。

特別講演では、東京歯科大学社会歯科学講座教授の平田創一郎先生から、「地方の歯科医師供給体制の構築手段を考える」と題してご講演いただきます。まさに本大会の核心に迫るテーマであり、地域偏在や人材確保を、単なる歯科医師数の問題にとどめず、養成、配置、定着、承継、そして制度設計まで含めて考える貴重な機会になるものと期待しております。また、12題の一般口演を通じて、各地域の実践や課題、工夫が共有され、新たな連携と具体的な行動につながることを願っております。

本大会での議論が、中国地域の将来に向けた確かな第一歩となり、地域歯科医療を次の世代へつなぐ力となりますことを祈念申し上げ、開催にあたってのご挨拶といたします。

令和８年度　中国地域歯科医療管理学会
総会・学術大会の開催によせて



一般社団法人日本歯科医療管理学会
理事長　柴　垣　博　一

令和８年度中国地域歯科医療管理学会総会・学術大会が、2026 年 10 月 31 日（土）、11 月１日（日）の両日、山口県歯科医師会館において盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、中国地域歯科医療管理学会会長の山中友之先生をはじめ、大会長の公益社団法人山口県歯科医師会会長小山茂幸先生、ならびに大会運営にご尽力いただきました関係者の皆様に、深く敬意を表します。私は本年７月、日本歯科医療管理学会総会において理事長を拝命いたしました。長い歴史と伝統を有する本学会の責務を担うにあたり、歴代理事長ならびに諸先輩方が築かれた学術的基盤と社会的信頼を継承し、歯科医療管理学のさらなる発展に尽力してまいる所存です。

日本歯科医療管理学会は、大学関係者と開業医の先生方が両輪となり、医療安全、感染管理、医療倫理、医療経済、地域歯科保健、人材育成など幅広い領域において活動してまいりました。そして、その活動を支えているのが全国各地の地方会であり、中国地域歯科医療管理学会も地域に根ざした学術活動を通じ、地域歯科医療の発展に大きく貢献してこられました。

さて、本大会のテーマは「10 年後の地域歯科医療体制を考える」であります。少子高齢化に加え、人口減少と過疎化が進む中、特に地方では歯科医師不足や医療資源の地域偏在が深刻な課題となっています。中国地域においても、歯科医師の確保に加え、後継者不足による歯科医院の承継困難など、地域歯科医療の持続そのものが問われています。

国においても歯科医師の地域偏在は重要な政策課題となっていますが、単に歯科医師数を確保するだけでは十分ではありません。地域に根ざした歯科医院をいかに次世代へつなぐのか、若い歯科医師が地域で活躍できる環境をどう整えるのか、そして医科・介護・福祉・行政等との連携により、地域住民に必要な歯科医療をどのように届けるのかを総合的に考える必要があります。

日本歯科医療管理学会は、三本柱として「医療安全」「地域連携」に加え、「持続可能な学会運営・経営基盤の充実」を掲げております。この「持続可能性」は学会運営に限らず、地域歯科医療そのものを次世代へ引き継ぐことにもつながります。

10 年後の地域歯科医療を支えるのは、10 年後になって考える私たちではありません。今、地域で診療に携わる私たち自身であり、これから歯科医療を担う次の世代です。

本大会が、中国地域５県の現状と課題を共有し、それぞれの地域の実情に即した将来像を描き、「今、何を始めるべきか」を考える機会となることを心より願っております。結びに、本大会のご盛会と中国地域歯科医療管理学会ならびに中国地域歯科医師会のさらなるご発展、ならびに会員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

ご　挨　拶



中国地域歯科医療管理学会

会長　　山　中　友　之

令和８年度中国地域歯科医療管理学会総会・学術大会の開催にあたり、会員の皆様にご挨拶申し上げます。本大会の開催にあたり、快く大会長をお引き受けいただいた小山茂幸山口県歯科医師会長に御礼申し上げます。また、柴垣博一日本歯科医療管理学会理事長をはじめ、中国地域歯科医療管理学会役員の皆様、学会員の皆様はじめ、各県歯科医師会事務局の皆様、多くの方々のご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

本会の活動の中の、「歯科医療提供体制に関する中国５県調査」では、2025 年から 10 年先の 2035 年の将来像としてシミュレーションしています。

偶然にも、2035 年は要介護者人口が最も多い時代になる時期と一致します。それ以降も、少子高齢化は加速していき、1970 年代前半生まれの「団塊ジュニア世代」が一斉に高齢者となるタイミングと重なります。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2040 年の 65 歳以上人口は約 3900 万人、全体の約 35％（3 人に 1 人は高齢者）に達すると見込められます。同時に 15 ～ 64 歳の生産年齢人口は約 6000 万人まで減じて、働き手 1 人が高齢者 0.6 ～ 0.7 人を支える構造となります。つまり、2025 年問題よりもさらに深刻な問題が出てくると思われます。

高齢化社会になり、医療介護ニーズは増大するものの、労働者不足の問題で人材の奪い合いが起きます。激務であると言われる医療界、特に歯科界の人材不足はさらに深刻となるでしょう。また、社会保障費の増大は必須、事業継承の問題も躍起され、より積極的な対策を取らねば、事業を持続継続不可能となる現実がより切迫してくると思います。

この 10 年をどう考え、どのように対策し、2040 年問題に備えていかねばならないと思います。

よって、本年度、本大会を担当するにあたり、「10 年後の地域歯科医療体制を考える」をメインテーマとさせていただきました。

医療界では、その対策として、医療ＤＸがさらに進むと思われます。同時に、５県調査でも問題点が露呈した、歯科医師の地域偏在、医療の地域偏在の対策についても議論しなくてはなりません。

都市部で勉学を終えた若い歯科医師が、地方に帰ることなく、都市部で就職する現実。都市部は栄え、中山間地域は衰退していく。一部の県では、臨床研修医が誰一人も入局していない県も存在するような事態です。

そういったことも鑑みて、今回、特別講演として東京歯科大学　社会歯科学講座　教授平田創一郎先生を迎え「地方の歯科医師供給体制の構築手段を考える」と題した御講演をいただきます。

また、午後には、各県の先生方より、様々な視点からの 12 題の一般口演を頂いております。活発な議論が交わされることを期待しております。

本大会が実り多き大会になる事を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

概要と日程

■10月31日（土） 役員会、懇親会

かめ福オンプレイス　3階長州

〒753-0056　山口市湯田温泉4−5−2
TEL：083−922−7000

17：00 ～	第２回役員会
18：30 ～	懇　親　会　　【会　費　9,000 円】

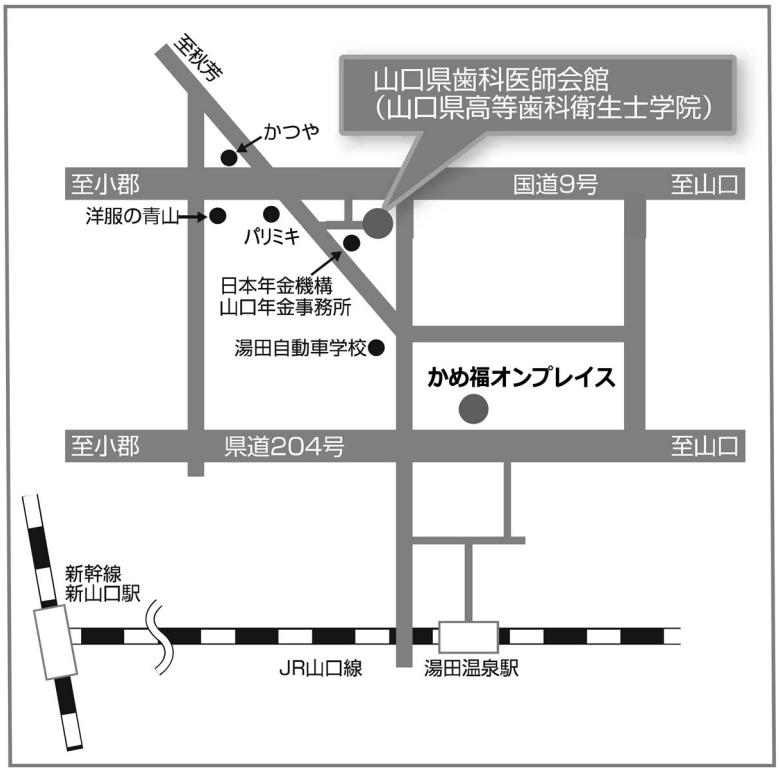
■11月 1日（日） 総会、学術大会

山口県歯科医師会館　2階ホール

〒753−0814　山口市吉敷下東1−4−1
TEL：083−928−8020

8：30 ～	受 付 開 始　　【参加費　3,000 円】
9：00 ～ 9：40	総　　会
9：45 ～ 10：00	開 会 行 事
10：00 ～ 12：00	特 別 講 演　「認定医研修会」
12：00 ～ 13：00	休憩（昼食）
13：00 ～ 15：45	一 般 口 演
15：45	閉　　会

【会場案内】



お知らせとお願い

■学会参加者の皆様へ

1. 会場では名札をお付けください。
2. 日本歯科医師会生涯研修登録は、会場に日歯生涯研修の QR コードを掲示いたしますので、各自で読み取っていただき、受講登録をお願いいたします。
3. 弁当をお申込みの方は、受付にて昼食券をお買い求めの上、昼食時にお弁当とお引き換えください。なお、学会役員、座長、一般口演演者の方は昼食を用意しております。

■学会役員の方へ

役員会は、10 月 31 日（土）17：00 からかめ福オンプレイスにて行います。

■学会員の方へ

総会は、11 月 1 日（日）9：00 から山口県歯科医師会館 2 階ホールにて行いますので、ご出席ください。

■座長の方へ

1. 座長は、時間前に次座長席にて待機願います。
2. 演者との打ち合わせを兼ねた昼食会を 3 階会議室にて行います。

■認定医の方へ

今回の特別講演は認定医研修会となっております。修了証が必要な方は受付にて 3,000 円を添えてお申込みください。

■一般口演演者の方へ

1. 口演時間は、発表 10 分質疑応答 2 分の計 12 分です。時間通りの進行にご協力ください。
2. 次演者は、次演者席でお待ちください。
3. 発表形式は液晶プロジェクター（単写）となります。
4. プレゼンテーションは学会で用意した PC を使用します。発表データは事前に学会事務局までご提出願います。試写は会館 2 階視聴覚室にて、8：30 ～ 9：00 の間に行います。また、当日データの差し替えがある場合も、上記時間内にお申し出ください。
5. PC は Windows11、PowerPoint2019 を用意します。
6. 座長との打ち合わせを兼ねた昼食会を 3 階会議室にて行います。

プログラム

9：00～ 9：40　　中国地域歯科医療管理学会　総会

9：45～10：00　　開会行事

・開　　会
・大会長挨拶　　山口県歯科医師会会長　　小山　茂幸
・会 長 挨 拶　　中国地域歯科医療管理学会会長　　山中　友之
・祝　　辞　　日本歯科医療管理学会理事長　　柴垣　博一

10：00～12：00　　特別講演

座長　山中　友之（山口県）

『地方の歯科医師供給体制の構築手段を考える』

講師：東京歯科大学社会歯科学講座　教授
一般社団法人日本歯科医療管理学会　常務理事
平田　創一郎　先生

12：00～13：00　　昼食・休憩

13：00～15：45　　一般口演

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　座長　千藏　紘一（山口県）

1.「整理整頓経営 ®」がもたらした歯科医院の組織変革
―「やりがいがない」組織から「辞めたくない」組織への変容 ―
○河野佳苗　　小原啓子
（株式会社デンタルタイアップ）

2.【第一報】「医院承継情報プラットフォーム」の構築に向けての取り組み
○弘末　勝[1]　　秦泉寺　傑[1]　　盛野哲生[1]　　山下　将[1]　　松島章子[1]
洲脇道弘[1]　　此内浩信[1]　　浜崎健介[1]　　角南善章[1]　　越宗紳二郎[1]
野﨑真弘[1]　　石戸善一郎[1、2]　　久門田俊治[2]
（[1]岡山県歯科医師会医療管理部、[2]岡山県歯科医師会調査・情報管理部）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　座長　藤江　　徹（島根県）

3．歯科医師会アプリによる安否確認訓練　第一報　―訓練から見えてきたこと―

○金田俊彦[1]　加藤正昭[1]　前原東章[1]　平田敦司[1]　山本晃生[1]
田部雅樹[1]　大井手和久[1]　広瀬佐都子[1]　森川直樹[1]　河底晴紀[1]
三分一福展[1]　野々山大介[1]　福傳龍司[1]　板谷和徳[1]　森本徳明[1]
木本知秀[1、2]　山我貴之[1、2]　天間裕文[1、2]　石田栄作[2]　上川克己[3]
森本　進[3]　山﨑健次[3]
（[1]広島県歯科医師会医療管理部、[2]広島県歯科医師会歯科医療安全対策室、
[3]広島県歯科医師会）

4．HIV 感染症患者の歯科診療ネットワーク構築事業について

○岡 左登志　酒井博淳　小田浩一
（鳥取県歯科医師会医療管理委員会）

5．山口県歯科医師会での歯科技工についてのアンケート調査

○山﨑眞弘[1、2]　松尾宗一郎[1、2]　松田　馨[1、2]　千藏紘一[1、2]
田中久雄[1、2]　山中友之[1、2]　南﨑信樹[2]　小山茂幸[2]
（[1]山口県歯科医師会　医療管理委員会、[2]山口県歯科医師会）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　座長　天間　裕文（広島県）

6．鳥取県における歯科医療提供体制の今後について

○庄司和伸　池田実央　大森智弘　林　克也　名倉　秀　中村裕志
（鳥取県歯科医師会医療管理委員会）

7．GIS 分析を用いた浜田圏域の歯科医療アクセス変化
― 個々の閉院が及ぼす最短通院距離増大の定量評価 ―

○永井健夫[1]　高村雄太郎[1]　朝比奈圭[1]　澄川裕之[1]　藤江徹[1]
青木　誠[1]　末森一彦[1]　檜谷邦茂[1、2]
（[1]島根県歯科医師会医療管理部、[2]小さな拠点ネットワーク研究所）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　座長　大森　智弘（鳥取県）

8．新卒歯科衛生士の就職意識調査　―５年間の動向と考察 ―

○広瀬佐都子[1]　田部雅樹[1]　大井手和久[1]　森川直樹[1]　河底晴紀[1]
三分一福展[1]　野々山大介[1]　平田敦司[1]　加藤正昭[1]　前原東章[1]
金田俊彦[1]　山本晃生[1]　福傳龍司[1]　板谷和徳[1]　森本徳明[1]
木本知秀[1、2]　山我貴之[1、2]　天間裕文[1、2]　石田栄作[2]　上川克己[3]
森本　進[3]　山﨑健次[3]
（[1]広島県歯科医師会医療管理部、[2]広島県歯科医師会歯科医療安全対策室、
[3]広島県歯科医師会）

9．歯科衛生士学生における県内就職意向と職場選択価値観の関連
　― 島根県養成校 99 名の横断調査 ―
　○澄川裕之　　高村雄太郎　　朝比奈　圭　　永井健夫　　藤江　徹
　　青木　誠　　末森一彦
（島根県歯科医師会医療管理部委員会）

10. 岡山県歯科医師会歯科衛生士支援事業
　― 約 1600 名の参加者対象のアンケートから見える今後の展望 ―
　○秦泉寺　傑　　丸濱功太郎　　盛野哲生　　山下　将　　松島章子
　　洲脇道弘　　此内浩信　　浜崎健介　　角南善章　　越宗紳二郎
　　弘末　勝　　野﨑真弘　　石戸善一郎
（岡山県歯科医師会医療管理部）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　座長　角南　善章（岡山県）

11. 生成 AI を用いたオンライン資格確認システム薬剤情報の歯科診療への活用
　○佐藤裕二
（広島県　さとう歯科）

12. サイバーセキュリティ対策に対するアンケート調査
　○田中久雄[1、2]　　松尾宗一郎[1、2]　　松田　馨[1、2]　　千藏紘一[1、2]
　　山﨑眞弘[1、2]　　山中友之[1、2]　　南﨑信樹[2]　　小山茂幸[2]
（[1]山口県歯科医師会　医療管理委員会、[2]山口県歯科医師会）

15：45　　閉　会

抄　　録

特別講演　　P.10

一般口演　　P.12 ～ 23

地方の歯科医師供給体制の構築手段を考える



東京歯科大学社会歯科学講座　教授
一般社団法人日本歯科医療管理学会　常務理事（地域医療・研修）
平田　創一郎

令和８年７月 14 日、厚生労働省は歯科医療提供体制の最適化を目的とした「歯科医師の適切な配置等に関するワーキンググループ」の報告書を公表した。近年の歯科医師数等の動向について以下のように述べられている（一部抜粋）。

◯これまで、歯科医師総数及び医療施設従事歯科医師数はともに、令和２年まで増加傾向にあったが、平成 24 年頃よりその傾向は緩やかになっている。

◯歯科医師（総数）の年齢構成は、令和４年では 60 ～ 69 歳が最も多く、次に多いのは 50 ～ 59 歳であった。また、近年 60 ～ 69 歳や 70 歳以上の割合が増加傾向にある。

◯歯科診療所数は、平成 29 年まで増加傾向にあったが、その後ほぼ横ばいに推移しており、令和５年は 66,818 施設であり微減傾向にある。

本報告書では、都道府県単位にとどまらず二次医療圏単位まで検討範囲を広げており、また、これらとは別に GIS（地理情報システム）を利用した歯科医療機関の地理的アクセシビリティの指標もワーキンググループ内で検討されている。

しかし、現場の感触からはかなり控えめな表現となっているように思うがいかがだろうか。地方では高齢化・人口減少もさることながら、歯科医師の高齢化と歯科診療所の減少は、もはや地域歯科医療の死活問題になってきているというのが本音ではないだろうか。二次医療圏では単位として広すぎる（元は入院に係る医療提供の圏域である）し、地理的アクセシビリティの指標についても、歯科診療所から半径 1,000m の範囲を参照しているが、これでは狭すぎる。演者が働く東京都千代田区を例にとっても、日中滞在する人の居住地の１位は直線距離で約 29㎞離れた神奈川県横浜市で 6.84％（2020 年）であり、当然職場や学校の近くにかかりつけ歯科医を持つ人も少なくないだろう。山口市の場合だと２位が防府市で 4.14％（同年）、直線距離にして 17㎞である。一律の距離の問題ではなく、移動手段や年齢に依存することは明らかである。

では、誰が一番歯科医療に手が届かなくなるのか。高齢者や障害者だと考える。１つめの課題はこれらの人にどのように均等な診療機会を与えることができるか。総合歯科専門医（仮称）の検討状況にも触れたい。２つめは、どうやって地域偏在を解消するのか。先行して対策を行っている医師の例や、イギリスの Dental Recovery Plan を例にとって、具体策について検討してみたい。

実のところ、どちらの課題についても上手くいっていないのが現状である。我々歯科医師が自ら解決に乗り出さない限り、無理な注文である。最後に、供給が均てん化されている状態は、供給が過剰である状態と同義であることを知っておくべきだと考えている。

略　歴

平田　創一郎（ヒラタ　ソウイチロウ）

1995 年　大阪大学歯学部卒業
　　歯科医師免許取得
1999 年　大阪大学大学院歯学研究科修了　博士（歯学）取得
　　大阪大学歯学部附属病医院顎口腔機能治療部　医員
2002 年　厚生労働省医政局歯科保健課　歯科医師臨床研修専門官
2006 年　東京歯科大学社会歯科学研究室　講師
2010 年　東京歯科大学社会歯科学研究室　准教授
　　東京歯科大学　教務副部長（現職）
2013 年　東京歯科大学社会歯科学研究室　教授
2015 年　東京歯科大学社会歯科学講座（講座名変更）　教授（現職）
2024 年　東京歯科大学水道橋病院　副病院長（臨床研修担当）（現職）

学　会

一般社団法人日本歯科医療管理学会　常務理事（地域医療・研修）
社会歯科学会　常任理事（総務）
一般社団法人日本歯科医学教育学会　常務理事（総務）

行　政

船橋市歯・口腔の健康推進協議会　座長
多摩市みんなの笑顔が広がる歯と口の健康を推進する条例推進会議　会長
港区歯科保健事業推進協議会　委員
市原市歯と口腔の健康づくり推進会議　委員

その他

歯科医師臨床研修マッチング協議会　委員長代理
日本歯科医学会歯科診療ガイドラインライブラリ協議会　座長
公益財団法人 8020 推進財団会誌編集委員会　委員長
公益財団法人日本医療機能評価機構　歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業　専門分析班　委員
ほか

「整理整頓経営®」がもたらした歯科医院の組織変革
―「やりがいがない」組織から「辞めたくない」組織への変容 ―

○河野佳苗　　小原啓子

（株式会社デンタルタイアップ）

索引用語 : 整理整頓経営 ®, 理念創造型経営，変革，５S 活動（整理・整頓・清掃・清潔・躾），診療時間の短縮，人材の定着 , 総収入の増加

【目的】

歯科医院経営において、人材の確保と定着は大きな課題である。演者らはこれまで複数の歯科医院で、整理･整頓を入口に、業務、役割、情報共有、人との関わり方までを整える「整理整頓経営 ®」に取り組んできた。本報告では、その中から組織と経営の両面で大きな変化がみられた一歯科医院の約２年間の取り組みについて報告する。

【方法】

整理整頓、医院理念の共有、業務改善、役割分担、情報共有、スタッフ主体の改善活動を継続した。また、院長、チーフ、サブチーフへのインタビューを行い、変革前後の意識と行動、組織の変化を振り返るとともに、経営実績の推移を確認した。

【結果】

変革前は、欠勤やシフト変更、情報共有不足への対応に追われ、日々の診療を「こなす」ことで精一杯であった。助け合う雰囲気も乏しく、人の入れ替わりもあった。院長にとっての転機は、退職するスタッフから「やりがいがない」と言われたことであった。院長自身も「自分がやらなければ」と仕事を抱え、スタッフに完全に任せられずにいた。そこで変革を通して、医院の理念と目指す方向を共有し、法令遵守の継続した医院環境づくりをおこなった。問題が起きても「誰が悪いか」ではなく、「なぜ起きたか」「仕組みをどう変えるか」を皆で考えた。院長はスタッフを信じて任せるようになり、スタッフも自ら考え、役割と責任を持って医院づくりに関わるようになった。現在では自然に声を掛け、助け合うチームとなり、「辞めたくない」とスタッフが声を揃える。さらに経営実績も変革後から伸び続け、本年１月に診療時間を短縮した後も、その伸びは継続している。

【考察・結論】

「やりがいがない」医院から「辞めたくない」医院への変化は、人を大切にし、力の発揮できる継続した環境づくりを通してチーム一丸体制を意識し続けた結果と考える。「整理整頓経営 ®」は、働く人のやりがいと組織力を高めるだけでなく、診療時間の短縮と経営の成長を両立できる可能性を示す一例となった。

文献：1）小原啓子，河野佳苗ら：歯科医院の整理・収納・DIY アイディア集，日本歯科新聞社，東京，2026.

【第一報】「医院承継情報プラットフォーム」の構築に向けての取り組み

○弘末　勝[1]　秦泉寺　傑[1]　盛野哲生[1]　山下　将[1]　松島章子[1]
洲脇道弘[1]　此内浩信[1]　浜崎健介[1]　角南善章[1]　越宗紳二郎[1]
野﨑真弘[1]　石戸善一郎[1、2]　久門田俊治[2]
（[1]岡山県歯科医師会医療管理部、[2]岡山県歯科医師会調査・情報管理部）

【目的】

全国的に歯科医師会員の平均年齢は 60 歳を超え、ボリューム層は 60 歳代、次いで 50 歳代が占めており、近い将来、後継者不足による閉院が相次ぎ、地域歯科医療提供体制維持の困難が懸念される。岡山県歯科医師会（以下、本会）が実施した令和８年度経営実態調査では、回答者の８割が医院承継事業に「関心がある」と答えており、この事業のニーズの高さがうかがえた。一方で、診療所の不動産や医療機器等の資産を含む医院承継に歯科医師会が関与することに対しては慎重な議論を要する課題も多い。新規開業費用の高騰や一部の法人による分院展開など、医院承継を巡る環境は本会の将来像にも直結する重要課題である。そこで本会医療管理部では、会員向け情報プラットフォームの基本仕様を検討するとともに、運用上想定される問題点の整理とその対応策の明確化に着手した。本発表ではその検討プロセスを報告し、今後の運用開始に向けた討議の契機としたい。

【検討課題と基本方針】

本事業の立ち上げにあたり、リスク管理と運用の持続可能性の観点から以下の３つの基本方針を設定した。

１．情報提供に限定した運用モデル：本会は「情報掲載の場の提供」のみを行い、仲介・交渉には介入しない。交渉は当事者の責任で行うこととし、専門家（コンサルタント・税理士等）への相談を促す仕組みを前提とする。

２．組織的運用に耐え得るシンプル設計：役員や事務局担当者の交替があっても事業継続に支障が出ないよう、極力業務負担を軽減したシンプルな運用フローとする。

３．組織的メリットの確保：歯科医師会が情報発信することで取引の安心感・信用度を高め、同時に非会員の承継希望者に対する本会への入会促進（組織率向上）にも繋げる。

【システム設計（方法）】

上記の方針に基づき、会員専用サイト内に「医院承継」ポータルを開設する設計を行った。Google フォームを活用した申込内容の自動書式変換・PDF 化、Web 掲示板への即時反映、およびメール会員への自動通知など、迅速対応と事務作業の簡略化を両立する仕組みを構築する計画とした。

【考察と展望】

本設計により、本会の責任範囲を明確にし、運用上のリスクを可能な限り抑えつつ、持続可能な会員支援・入会促進インフラの基盤が整えられる。今後は他県の取り組みを参考にさせていただきながら事業構築を進めていきたい。

歯科医師会アプリによる安否確認訓練　第一報
―訓練から見えてきたこと―

○金田俊彦[1]　加藤正昭[1]　前原東章[1]　平田敦司[1]　山本晃生[1]　田部雅樹[1]
大井手和久[1]　広瀬佐都子[1]　森川直樹[1]　河底晴紀[1]　三分一福展[1]　野々山大介[1]
福傳龍司[1]　板谷和徳[1]　森本徳明[1]　木本知秀[1、2]　山我貴之[1、2]　天間裕文[1、2]
石田栄作[2]　上川克己[3]　森本　進[3]　山﨑健次[3]
（[1]広島県歯科医師会医療管理部、[2]広島県歯科医師会歯科医療安全対策室、
[3]広島県歯科医師会）

広島県では、2000年の広島県北部地震（最大震度６弱）、2014年の広島土砂災害（死者77名）、2018年の西日本豪雨（県内死者114名）など、地域特性に起因した大規模災害が繰り返し発生してきた。今後も南海トラフ巨大地震をはじめ様々な自然災害が予想されている。このような状況下において、災害発生時に会員の安否情報や歯科医療機関の「診療可否」を迅速に把握し、各郡市会と情報を共有することで、歯科医療救護活動へ円滑に連携する仕組みの構築は喫緊の課題である。

そこで、昨年より広島県歯科医師会医療管理部では災害危機管理に関する意識調査により会員の災害対応意識の把握を行い、これまで安否情報の情報収集に手間と時間がかかっていたため会員用スマートフォンアプリ「はっぽくんナビ」を開発する取り組みを始めた。今年度は安否確認機能の運用体制整備を進めてきた。本発表では、①安否確認運用に関する内規規定（令和８年５月１４日施行）について、②安否確認訓練実施（第１回訓練、第２回訓練）の結果について、現在の課題から今後の展望を検討することとした。

第１回訓練では、回答率が目標に届かず想定を大きく下回った。原因として、①アプリ導入率の低さ、②訓練自体の認知度不足、③平日診療時間中で通知に気づきにくいこと、④回答期間の妥当性などが考えられた。これらを踏まえ、第２回訓練に向けて、①アプリ認知度向上のためのHP周知と広報物の配布、②訓練の目的と必要性の再周知、③通知に気づきやすくするためのメール併用（訓練開始６時間後に送信）④データ一元化の改善などの対策を講じた。

第２回安否確認訓練は９月１日に実施し現在集計中であるが、本発表では第１回訓練の課題と改善策を報告するとともに、第２回訓練の結果を踏まえた運用改善の方向性について考察する予定である。以上より、災害時に歯科医療機関の状況を迅速に把握する体制の構築が、地域医療の継続性確保に不可欠であることが示唆された。安否確認システムは導入して終わりではない。訓練を繰り返すことで会員全員がひとつに繋がる意識を持つことができれば歯科医療救護活動へ円滑に連携する防災インフラになると考えられる。

一般口演４

ＨＩＶ感染症患者の歯科診療ネットワーク構築事業について

○岡 左登志　　酒井博淳　　小田浩一

（鳥取県歯科医師会医療管理委員会）

HIV 感染症、HCV 感染症における医療は日進月歩で、20 世紀では考えられないくらい進歩している。HIV 感染症が世界を席巻したのは 1980 年代初期からであり、歯科医師国家試験では 1987 年の第 80 回に初めて登場した。当初からワクチンをつくるのは無理だと言われており、実際ワクチンは出来ていないが、治療薬と感染予防薬は飛躍的に改善されている。ただ HIV 感染者に対する診療レベルの向上は、HIV 感染者への偏見をなくす程ではなく、国民の恐怖心はさほど減少していないと思われる。

鳥取県歯科医師会では HIV 感染症患者の歯科診療のネットワークを平成の終わり頃に構築し、現在問題なく行われている。しかし協力歯科医は決して多くなく、たくさんの歯科医師が、未だに HIV 感染症患者の歯科診療に躊躇していると思われる。HIV に対する知識が多い歯科医師ほど、HIV 感染者に対する偏見は少なく、HIV 感染症の研修会の必要性を感じるが、HIV の研修会を開催しても、なかなか参加してもらえないのも事実である。

本発表では現在鳥取県歯科医師会で行っている HIV 感染症患者の歯科診療ネットワーク事業を紹介し、まずは患者さんが困る事のないように出来ている現状、そして今後協力歯科医師を増やすために何をすればいいのか医療管理委員会で検討したことを発表する。

一般口演５

山口県歯科医師会での歯科技工についての アンケート調査

○山﨑眞弘[1、2]　松尾宗一郎[1、2]　松田　馨[1、2]　千藏紘一[1、2]　田中久雄[1、2]
山中友之[1、2]　南﨑信樹[2]　小山茂幸[2]
（[1]山口県歯科医師会　医療管理委員会、[2]山口県歯科医師会）

歯科医療においては、修復処置や補綴処置の際に印象を採得し修復物や補綴物を製作する歯科技工が行われている。しかしながら、以前より歯科技工士の高齢化や低収入による離職による歯科技工士不足が囁かれており、特に地方では安定した歯科医療の供給が困難になる可能性が予想され、中山間地域を多く抱える山口県でもそれは例外ではない。

また、従来の修復物や補綴物に使用される、金銀パラジウム合金に代表される歯科用金属の世界情勢等の様々な要因による高騰は近年急激な高まりを見せており、歯科医院経営を圧迫している。

こうした状況を受け、山口県歯科医師会では会員医療機関における歯科技工の対応状況や課題を把握するため、会員 569 名を対象にアンケート調査を令和 8 年 6 月 12 日から 7 月 3 日にかけて実施した。

（FAX およびインターネット形式、有効回答数 132、回答率 23.2%）

本発表ではアンケート結果をもとに、将来的に安定した歯科医療を供給するための歯科技工への対応や歯科用金属高騰への対策の考察を、その対策例とともに報告する。

一般口演６

鳥取県における歯科医療提供体制の今後について

○庄司和伸　　池田実央　　大森智弘　　林　克也　　名倉　秀　　中村裕志
（鳥取県歯科医師会医療管理委員会）

昨年、「鳥取県における歯科医院の終活について」の発表を行いました。その際のアンケート調査において、県歯会員の世代別人数を確認したところ、60 代が 29%、70 代が 25%、50 代が 20%、30，40 代はあわせても 15%でした。50 代以上の割合が 85%でした。今後、県歯会員の高齢化が進んでいくにつれて、地域の歯科医療提供体制への影響が懸念されました。

また、2025/ 7 /19　第 66 回日本歯科医療管理学会にて中国地域歯科医療管理部によって発表された、「歯科医療提供体制維持に向けての中国５県調査（中国５県歯科医療機関分布に関する未来シミュレーション）」からも 2035 年に増加する受療困難地区や歯科医師の高齢化が示されました。

鳥取県においても 2035 年に受療困難地区と示された地区があり、なかでも多い傾向のある東部地区に焦点を当て、該当地区の５医院にアンケートを行いました。それを参考に、該当地域の問題点、その対応策について考えましたので報告させて頂きます。

一般口演７

ＧＩＳ分析を用いた浜田圏域の歯科医療アクセス変化

―個々の閉院が及ぼす最短通院距離増大の定量評価―

○永井健夫[1]　高村雄太郎[1]　朝比奈圭[1]　澄川裕之[1]　藤江徹[1]
青木　誠[1]　末森一彦[1]　檜谷邦茂[1、2]
（[1]島根県歯科医師会医療管理部、[2]小さな拠点ネットワーク研究所）

中国地域歯科医療管理学会では、5県共同で歯科医療提供体制維持に向けた調査研究を進めており、島根県も他県の先生方と協力して取り組んでいる。本研究では、推計人口、歯科医療機関の所在地、開設者年齢を地理情報システム（GIS）で解析し、歯科医師が75歳で閉院すると仮定した将来予測を行った。その結果、中山間地域を中心に受療困難地区が拡大する可能性が示された。

昨年度は浜田圏域を対象に発表した。2035年には歯科医療機関が13施設（4割）減少し、約1万人（人口比16%）が受療困難となる予測を示した。特に浜田市の山間部では受療困難地区が広範囲に形成され、江津市では閉院に伴う残存医療機関への負担集中が示された。

今回は、閉院による通院への具体的影響を把握するため、道路網データを加えたGIS交通ネットワーク解析を実施した。浜田圏域217地区を対象に、人口重心から最寄りの歯科医療機関までの最短経路を算出し、閉院が通院距離、所要時間、交通費に及ぼす変化を評価した。その結果、最も距離増加が大きい地区では18.9km、運転所要時間は最大22分の増加が認められた。さらに、通院距離の増加による経済的負担を金額換算する指標として、タクシー利用を仮定した運賃を算出した。閉院に伴う片道タクシー運賃の増加額は最大7,510円で、山間部を中心に5,000円以上増加する地区も複数認められた。特に、自家用車を利用できない高齢者では、通院負担がより大きくなる可能性が示唆された。さらに、閉院により特定医療機関が担う地区人口が最大約6,000人増加すると推計され、外来診療、訪問診療、公衆衛生活動等への負担増加につながる可能性が示唆された。

以上より、道路網を考慮したGIS交通ネットワーク解析は、地方都市・中山間地域における歯科医療提供体制の脆弱性と住民の通院負担を定量的に可視化する有効な手法と考えられる。今後は、通院手段の確保、巡回診療車やへき地歯科診療所の整備、医療機関間の広域連携など、距離的制約を克服するための対策を検討し、地域特性に応じた持続可能な歯科医療提供体制の構築を目指す必要があると考える。

一般口演８

新卒歯科衛生士の就職意識調査

― ５年間の動向と考察 ―

○広瀬佐都子[1]　田部雅樹[1]　大井手和久[1]　森川直樹[1]　河底晴紀[1]
三分一福展[1]　野々山大介[1]　平田敦司[1]　加藤正昭[1]　前原東章[1]
金田俊彦[1]　山本晃生[1]　福傳龍司[1]　板谷和徳[1]　森本徳明[1]
木本知秀[1、2]　山我貴之[1、2]　天間裕文[1、2]　石田栄作[2]　上川克己[3]
森本　進[3]　山﨑健次[3]
（[1]広島県歯科医師会医療管理部、[2]広島県歯科医師会歯科医療安全対策室、
[3]広島県歯科医師会）

【目的】

広島県歯科医師会医療管理部では、歯科衛生士の人材不足問題への対策の一環として、広島高等歯科衛生士専門学校の卒業生を対象とした就職意識調査を継続的に実施してきた。本発表は63～67期卒業生を対象に就職意識の経年動向を検証するとともに、5年間の調査結果に基づき、歯科医院の求人対策および歯科衛生士の人材確保に対する実務的な提言を行うことを目的としている。

【対象と方法】

広島高等歯科衛生士専門学校63～67期の卒業生延べ242名を対象に、令和3年度から令和7年度の5年間にわたり無記名アンケート調査を実施した。設問は、①見学に行こうと思った理由、②就職を決めた理由、③見学したが就職しなかった理由、の3項目とし、それぞれ複数の選択肢から重要度順に5項目を選択させ、加重スコアにより集計した。

【結果】

5年間を通じ、①見学に行こうと思った理由では「距離」「就業時間」「給与」といった条件面が重視される傾向が示された。一方、②就職を決めた理由では「医院の雰囲気」が5年連続で第1位となり、「スタッフ」「距離」などが続いた。③見学に行ったが就職しなかった理由においても「雰囲気」が上位に位置していた。

【考察】

5年間のアンケート結果から、見学先の選定段階では条件面が重視される一方、実際に見学を経て就職を決定する段階では、医院の雰囲気やスタッフとの相性といった対人的・体験的要素が意思決定の中心となることが確認された。この傾向は過去の調査とも一致しており、時代の変遷を経ても同様の結果であった。このことにより、求人活動においては、条件の提示にとどまらず、見学時に選ばれる医院の雰囲気作りをすることが重要と考えられる。

現在、新卒歯科衛生士を対象とした他地域との比較調査や在職歯科衛生士を対象とした職場環境に関する意識調査を実施しており、今後もそれらの結果を踏まえて、実効性のある歯科人材確保対策の提言につなげていきたい。

一般口演９

歯科衛生士学生における県内就職意向と職場選択価値観の関連
ー島根県養成校９９名の横断調査ー

○澄川裕之　高村雄太郎　朝比奈　圭　永井健夫　藤江　徹
青木　誠　末森一彦

（島根県歯科医師会医療管理部委員会）

【目的】

地方における歯科衛生士確保には、養成校卒業者の県内就職促進と、卒業後の就業継続を支える環境整備が重要である。本研究では、歯科衛生士学生の就職希望地域、就職先選択、働き方に関する意識を把握し、県外流出抑制および就業継続支援の課題を検討した。

【対象と方法】

2025 年、島根県歯科技術専門学校歯科衛生士科の学生を対象に、進路・就職・価値観に関する 17 項目の質問紙調査を実施し、99 名の回答を分析した。単純集計に加え、学年、県内・県外就職希望等によるクロス集計を行った。学年差は横断比較として解釈した。

【結果】

就職希望地は県内 62.6％、県外 37.4％で、県内希望は 1 年生 42.1％、2 年生 67.7％、3 年生 83.3％であった。県内希望理由は「実家から通える」58.1％、「通勤が楽」43.5％が上位で、「成長環境がある」は 11.3％であった。県外希望理由は「地元が島根県外」「成長機会」「都会への憧れ」が各 35.1％、「給与・待遇」32.4％であった。就職先選択では「給与」86.9％、「人間関係」85.9％が高く、職場文化では「優しく丁寧」78.8％、「私生活を尊重」67.7％、「チーム協働」56.6％が上位であった。

【考察・結論】

県外就職希望の背景は一様ではなく、地元回帰、成長機会、都市部志向等に分けて捉える必要がある。県内就職促進には、入学早期から県内医院の教育体制、成長機会、生活条件を比較可能な形で提示することが重要と考えられる。また、就業継続には待遇だけでなく、人間関係、職場文化、教育、チーム協働等を含めた職場環境整備が必要である。なお、本調査の勤務期間設問は同一職場への勤続意向であり、歯科衛生士という職種自体の継続意向とは区別して解釈する必要がある。

岡山県歯科医師会歯科衛生士支援事業
―約 1600 名の参加者対象のアンケートから見える今後の展望―

○秦泉寺　傑　　丸濱功太郎　　盛野哲生　　山下　将　　松島章子
洲脇道弘　　此内浩信　　浜崎健介　　角南善章　　越宗紳二郎
弘末　勝　　野﨑真弘　　石戸善一郎

（岡山県歯科医師会医療管理部）

1．目的

岡山県歯科医師会は 2022 年に歯科衛生士の復職支援や離職防止を目的とした「歯科衛生士支援事業（DH Support Project）」を開始した。事業の 3 本柱の 1 つである、大人数向け講演形式の「DH スキルアップセミナー」は年 2 回のペースで開催しており、口腔機能低下症をテーマとした第 8 回は会場・WEB・アーカイブあわせて 1595 名の受講があった。本発表においては、第 8 回受講者に対する事後アンケートの回答を基に、その結果を分析するとともに、今後の本事業の展望について検討したので報告する。

2．方法

第 7 回までのアンケートはセミナーの内容に関する項目のみであったが、第 8 回より参加者の年齢や所属、また歯科衛生士の離職防止と復職支援にフォーカスを当てた項目も追加され、最大で 22 項目に回答する内容となった。

3．結果

・受講者のうち、650 名（41%）より回答が得られ、そのうち歯科衛生士は 579 名、離職中の歯科衛生士は 5 名であった。
・回答した歯科衛生士の年齢内訳は 40 代以上が 61% であり、歯科衛生士としての職歴は 11 年以上が 68% であった。
・現在の仕事を「ぜひ続けたい」「できれば続けたい」と回答した在職中の歯科衛生士は、併せて 89% であった。
・「あれば復職しようと思えるサポート」として、「診療現場の見学・体験」と回答した離職中の歯科衛生士は 4 名であった。
・全回答者の実習内容に関する満足度は、5 段階評価中「非常に満足」と「満足」を併せて 96% であった。

4．まとめ

第 8 回で追加されたアンケート項目の多くはセミナーの内容に直接関係するものではないが、セミナー後にあわせてこれを実施したことは、アンケートの母集団を確保するという面で一定の意義があると考えられた。今後も同セミナーを通じたアンケートを継続することで、歯科衛生士の復職支援および離職防止という本事業の目的を達成するための、更に信頼性の高いデータベースを構築したいと考える。

一般口演 11

生成ＡＩを用いたオンライン資格確認システム薬剤情報の歯科診療への活用

○佐藤裕二

（広島県　さとう歯科）

【緒言】

オンライン資格確認システムは、医療機関間で処方情報を共有し、安全で質の高い医療を提供することを目的として整備されている。しかし、歯科診療においては、薬剤情報が商品名中心に表示されるため、薬効や適応疾患を短時間で把握することが容易ではなく、特に後発医薬品では一般名を知らなければ薬効を直感的に理解しにくい。また、多剤服用の高齢患者では一覧性や検索性にも課題がある。そこで、オンライン資格確認システムから得られる薬剤情報を歯科診療において簡便かつ効率的に活用する方法を検討したので、その取り組みと問題点について報告する。

【方法】

オンライン資格確認システムに表示された薬剤情報の必要部分を PC 上でスクリーンコピーし、生成 AI へ画像として入力した。あらかじめ作成したプロンプトを用いて、各薬剤について薬効、適応疾患および歯科治療上の注意点をコンパクトな一覧形式で出力する方法を構築し、日常臨床で活用した。

【結果】

本方法により、後発医薬品を含む薬剤について、薬効、適応疾患および歯科治療上の注意点を短時間で把握でき、歯科診療に必要な情報を効率よく整理することが可能となった。さらに、①マイナ保険証受付時に薬剤情報閲覧への同意を得る工夫、②薬剤一覧から歯科診療上重要な薬剤を効率よく抽出する方法、③生成 AI への入力プロンプトの最適化、④閲覧対象期間を少なくとも過去6か月とする工夫などにより、実用性の向上が図られた。一方、①生成 AI による薬剤名の誤認識、②多剤服用患者における一覧性の低さ、③電子処方箋未対応施設では情報反映に時間差が生じること、④患者の同意が得られない場合は情報を利用できないこと、⑤注射薬など一部薬剤情報の把握が十分でないことなどの課題が明らかとなった。

【結論】

生成 AI を活用することにより、オンライン資格確認システムから得られる薬剤情報を歯科診療に有用な形で効率よく整理・活用することが可能であった。一方、生成 AI の認識精度やオンライン資格確認システムの一覧性・情報更新性など、今後改善すべき課題も明らかとなり、歯科診療へのさらなる活用に向けたシステムの改善が望まれる。

サイバーセキュリティ対策に対するアンケート調査

○田中久雄[1、2]　松尾宗一郎[1、2]　松田　馨[1、2]　千藏紘一[1、2]　山﨑眞弘[1、2]
山中友之[1、2]　南﨑信樹[2]　小山茂幸[2]
（[1]山口県歯科医師会　医療管理委員会、[2]山口県歯科医師会）

サイバーセキュリティに関する山口県歯科医師会会員の状況について、各医院での対応と状況の把握を目的としてアンケートを行った。アンケートは令和８年６月にグーグルフォームでの回答方式により行い、医療機関数 569 に対し 112 件の回答があり、回答率は 19.7% であった。

アンケート結果より、サイバーセキュリティ対策を行っている医院は約６割程度、ガイドラインやチェックリストの作成を行っている医院は４割程度となった。またスタッフと情報共有を行っている医院は 25% 程度で、緊急時の対応に少し不安の残る結果であった。対策として行っているもので多かったのがレセコン会社での対応やウィルスソフトでの対応で、対策費用においては毎月１～５万円程度かけている医院が約６割、かけていない医院が４割となった。対策費用に関しては高く感じている医院が最も多く、国や自治体などによる対応が必要と感じている医院も比較的多い結果であった。実際にサイバー攻撃を受けた（疑い含む）医院は 5.4% で、実際攻撃を受けた内容では、フィッシングメールやウィルス感染といったマルウェア感染の疑いのあるもので、近年増加しているランサムウェアによる重大な被害は今のところ確認されていない。歯科関連業者へのサイバー攻撃で物流の遅延が起こった際、影響があったと答えた医院は約７割で、自院への直接的な攻撃だけでなく社会の状況を把握した対策も必要となってきている。歯科ではオンライン請求の推進（令和６年４月）やマイナ保険証（令和６年 12 月）といったネットを介した情報のやり取りが行われるようになり、ネット環境への対策の重要度が増している。今後も電子カルテの普及等の政策により更なる対策も必要となる可能性がある。

AI の発展などネット環境の充実が急速に進む中、患者の個人情報や自院の資産を守ることへの対応が年々重要度を増してきている。万一に備えてガイドラインや対策チェックリストなどを管理し、早急に対応できるよう山口県歯科医師会としても情報提供および情報共有を行っていく予定である。

MEMO

開催のあゆみ

日本歯科医療管理学会中国支部総会・学術大会一覧

開催年	開催日	会　場	メインテーマ	当番県	支部長	大会長
平成12年度	H12.11.19	広島県歯科医師会館	歯科医療戦後史の総括と未来への提言	広島	林　偕一	本山　栄荘
平成13年度	H13.11.25	山口県歯科医師会館	良質な歯科医療を提供するために	山口	重田　司郎	永冨　稔
平成14年度	H14.11.23	米子国際ホテル	良質な歯科医療を提供するためにⅡ	鳥取	重田　司郎	ー
平成15年度	H15.11.23	岡山県歯科医師会館	良質な歯科医療を提供するためにⅢ ー患者に喜ばれる歯科医院を目指してー	岡山	重田　司郎	小林　敏郎
平成16年度	H16.11.21	島根県歯科医師会館	良質な歯科医療を提供するためにⅣ	島根	大畑　実	青戸　泰吉
平成17年度	H17.11.20	広島県歯科医師会館	今、歯科医療に求められるもの	広島	清水　勢一	本山　栄荘
平成18年度	H18.11.26	山口県歯科医師会館	今、歯科医療に求められるものⅡ	山口	竹永　喜一	右田　信行
平成19年度	H19.10.28	鳥取県西部歯科医師会館	今、歯科医療に求められるものⅢ	鳥取	樋口壽一郎	林　伸伍
平成20年度	H20.11.9	岡山県総合福祉会館	安心・安全な歯科医療を目指して	岡山	西田　宜可	酒井　昭則
平成21年度	H21.11.8	島根県歯科医師会館	安心・安全な歯科医療を目指して	島根	大森　学	仲佐　善昭
平成22年度	H22.11.14	広島県歯科医師会館	生活を支える歯科医療を目指して	広島	石田　栄作	山科　透
平成23年度	H23.10.30	山口県歯科医師会館	生活を支える歯科医療を目指して	山口	神吉ゆかり	右田　信行
平成24年度	H24.10.28	鳥取県歯科医師会館	良質な歯科医療の提供を目指して	鳥取	中村　裕志	樋口壽一郎
平成25年度	H26.2.2	岡山市民会館 岡山県歯科医師会館	今、あらためて歯科医療安全を考える	岡山	西田　宜可	酒井　昭則
平成26年度	H26.11.23	島根県歯科医師会館	「求められる医療管理の意識改革」 ～次世代への Stay or Challenge ～	島根	内田　朋良	渡邊　公人
平成27年度	H27.5.29 ～ 31	岡山国際交流センター	日本歯科医療管理学会（岡山県開催） 医療管理の未来 ー変わりゆく診療環境のなかでー	広島	芦浦　文佳	酒井　昭則
平成28年度	H28.10.16	山口県歯科医師会館	安心安全な患者本位の歯科医療	山口	桝尾　隆一	小山　茂幸
平成29年度	H29.10.15	鳥取県西部歯科医師会館	歯科医療従事者の自律を支援する医療管理	鳥取	中村　裕志	樋口壽一郎

中国地域歯科医療管理学会総会・学術大会一覧

開催年	開催日	会　場	メインテーマ	当番県	支部長	大会長
平成30年度	H30.10.28	サン・ピーチ OKAYAMA	地域の中でかかりつけ歯科医のできること、なすべきこと	岡山	南　哲之介	酒井　昭則
令和１年度	R1.10.20	島根県歯科医師会館	歯科医療環境の将来像	島根	末森　一彦	内田　朋良
令和２年度	R2.11.1	広島県歯科医師会館 （WEB）	これからの歯科界のリスクを考える	広島	天間　裕文	甲野　峰基
令和３年度	R3.10.31	山口県歯科医師会館 （WEB）	これからの歯科界を考える	山口	山中　友之	小山　茂幸
令和４年度	R4.10.30	鳥取県歯科医師会館	コロナ禍で見えた安心・安全な歯科医療	鳥取	池田　実央	渡部　隆夫
令和５年度	R5.10.29	サン・ピーチ OKAYAMA	信頼のおける歯科医療の提供のために	岡山	石戸善一郎	西岡　宏樹
令和６年度	R6.10.27	島根県歯科医師会館	人口減少下における地域歯科医療を考える	島根	末森　一彦	内田　朋良
令和７年度	R7.10.26	広島県歯科医師会館	2025 年問題といわれていた、今	広島	森本　徳明	山﨑　健次
令和８年度	R8.11.1	山口県歯科医師会館	10 年後の地域歯科医療体制を考える	山口	山中　友之	小山　茂幸

※H30年度より日本歯科医療管理学会中国支部から中国地域歯科医療管理学会に変更

壁だと思っていたら、扉だった。

その扉は、
扉の顔　をしていなかった。
ただ、 そびえ立つ壁の　よう。
進むことを　拒む壁。

見知らぬ　アウェイの　この世界で、
奮闘する　日々に。
意味がある　のか　ない　のか。
ない　はずは　ない。

仕事　というものは、そうでしょう。
そうでしょう。

重ねる　努力。 伝える　思い。
見知らぬ　アウェイの　この世界よ、
親愛なるホーム　になって　ゆけ。
そして　いつか、 笑って　話そう。

壁は、僕らの　幻想　だったよと。



この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

山口銀行

SAIKYO 西京銀行

MEDICAL SUPPORT DEPARTMENT

メディカルサポート部

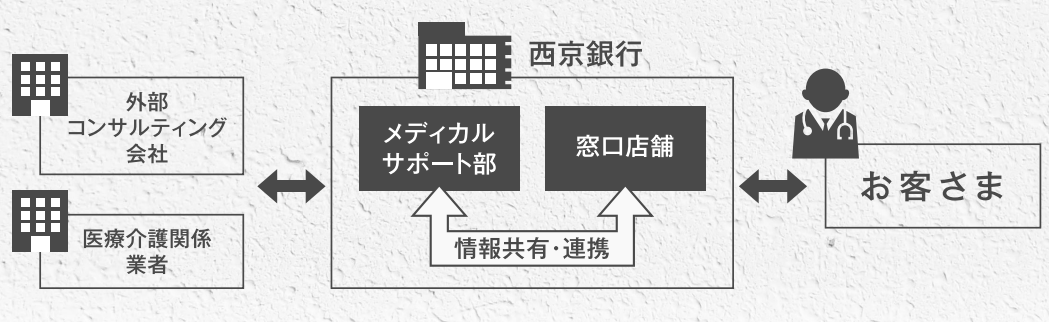
Concept

近年、医療や介護福祉分野を取り巻く環境は大きく変化しています。
病院やクリニック、介護施設を運営しているお客さまが抱える様々な経営課題に柔軟に対応するため、当行では医療・介護分野の専属担当者を配置しており、当行に蓄積されたノウハウ情報に基づく担当者による総合的な事業サポートを行います。
また、各種外部専門家とも連携することでお客さまにとって最適なソリューションを提供させていただきます。

主なサービス内容



サポートの流れ



詳しくはお近くの窓口までお気軽にお問い合わせください。

あなたのあしたに
西京銀行

スピードは控えめに。エコドライブで環境にやさしく。後席もシートベルト。チャイルドシートも忘れずに。

歴代最強ミニバン

DELICA D:5







DELICA mini







山口三菱自動車販売株式会社

MITSUBISHI MOTORS
Drive your Ambition

代表取締役社長　竹村荘一郎

防府本店	〒747-0045	防府市高倉2丁目3-10	0835(23)5555	岩国店	〒741-0061 岩国市錦見3丁目2-6	0827(41)1134
徳山店	〒745-0802	周南市栗屋771-4	0834(25)0866	柳井店	〒742-0034 柳井市大字余田1388-1	0820(22)3661
山口店	〒753-0251	山口市大内千防5-2-24	083(922)1364	ｸﾘｰﾝｶｰ防府店	〒747-0013 防府市沖今宿1丁目1-11	0835(38)0567
小郡店	〒754-0071	山口市小郡東津1丁目1-30	083(973)3311	ｸﾘｰﾝｶｰ徳山店	〒745-0802 周南市栗屋768-2	0834(36)0077

Thinking ahead. Focused on life.

MORITA

Accuios

人間工学に基づいた、人にやさしい IOS

すべての人にやさしい診療を目指して。
モリタの技術を集約した、人にやさしい口腔内スキャナー(IOS)が誕生しました。
人間工学に基づいた使いやすいデザインで、開口幅の小さい患者さんでも無理なく口腔内をスキャンできます。CTなどのデータを活用することで、三次元的な診断や治療計画が可能になり、スムーズな診療を実現します。



発売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL 06-6380-2525
東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL 03-3834-6161
製造販売 株式会社 モリタ製作所 本社: 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL 075-611-2141
販売名: アクイオス 一般的名称: デジタル印象採得装置 機器の分類: 管理医療機器 (クラスⅡ) 特定保守管理医療機器
医療機器承認番号: 30300BZX00243000

お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800. 222 8020 (フリーコール)

製品紹介ページ

LONG
WIDE
RECYCLE
SYSTEM

限られた地球の
貴重な資源を有効活用



リサイクルのご案内

超特急のぞみシステム
3日後仕上げ・手数料25%

特急ひかりシステム
7日後仕上げ・手数料20%

ロングワイドシステム
15日後仕上げ・手数料15%

決済内容は現金･地金･歯科用合金から
お選びいただけます。

詳しい資料は下記までご連絡下さい。

(一社)日本金地金流通協会発足当時より
正会員のツツミダは
中国・九州地方唯一の金問屋です。

ISO13485認証取得　製造販売業許可番号 34B2X00010

堤田貴金属工業株式会社
〒733-0012 広島市西区中広町2丁目14番23号
TEL(082)293-2233㈹ FAX(082)295-0643

詳しくはツツミダホームページURL　https://www.gold-tsutsumida.co.jp　E-mail : info@gold-tsutsumida.co.jp

中四国エリア対応
の工務店

歯科医院の施工実績▶30年・250件以上

歯科医院の戸建て新築からビルのテナント改装、既存物件の増築・リノベーション

歯科専門の開業支援から設計・施工、内装デザイン、アフターメンテナンスまで
歯科施工のプロが一括請負。理想のクリニックを実現します。







ASAHI SOUKEN 株式会社アサヒ装建

本　　社　広島市中区西川口町8-2　TEL 082-292-1657
岡山営業所　岡山市北区大内田808-3　TEL 086-239-3053
特定建設業 広島県知事許可(特-3) 第22253号　一級建築士事務所 広島県知事登録23(1) 第4491号

アサヒ装建 公式Webサイト
アサヒ装建 公式Instagram
アサヒ装建 公式LINE

Kawaryo Group



歯科用スクラップを
どうしていますか?

現在、環境問題は、地球規模となり、人々の生活に大きく関わっています。
一人一人ができること、市や国ができること、スケールは様々ですが、
企業ができることの一つとして、限りある資源を大切に
そして有効に利用していくことがあります。
このリサイクルについて、独自のシステムを開発、構築し、
環境保全や人々に喜ばれる事業を目指しています。

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

㈱KAWARYO九州

0120-920-942

HP http://www.kawaryo-q.co.jp ▶▶▶

九州本社 〒860-0052 熊本県熊本市西区田崎本町10-4
TEL 096-356-2578 / FAX 096-274-1221

福岡支社 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎1-11-11-1F
TEL 092-409-2418 / FAX 092-409-2427

鹿児島営業所 〒891-0112 鹿児島県鹿児島市魚見町112-12
TEL 099-297-6938 / FAX 099-297-6935

沖縄営業所 〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古2-7-12
TEL 098-897-4002 / FAX 098-988-0248

Kawaryo Group Organization

㈱KAWARYO PGM 〒431-1103 浜松市中央区湖東町5849

ユタカ㈱ 〒616-8165 京都市右京区太秦桂ヶ原町 20-3

㈱ピージーエム・プラス 〒770-0045 徳島市南庄町 2-24-1

越　智
法律会計事務所

相　続

・相続対策　・遺言書作成　・遺言執行者
・財産評価　・生前贈与　・相続税申告

事　業

・開業届出　・経理指導　・税務申告
・各種契約　・雇用問題　・事業承継

弁護士・税理士それぞれが専門性を活かしてサポートします。

代表
弁護士　越　智　　博　（山口県弁護士会所属）

弁護士　小見山　　岳　（山口県弁護士会所属）

税理士　越　智　　満　（中国税理士会所属）

〒７５３－００４８
山口市駅通り１丁目４番１０号　ひまわりビル２階
（TEL）０８３－９２０－３６２０　（FAX）０８３－９３２－３３８６



株式会社安成工務店　https://www.yasunari.co.jp　0120-80-5700
山口支店/ 山口市小郡前田町1-7　拠点/ 下関/ 山口/ 宇部/ 周南/ 北九州/ 福岡
Instagram　施工事例



Recycle　貴金属分析・精錬
Clean　産業廃棄物適正処理
Support　歯科研修会場 DHA

相田化学工業株式会社
広島営業所
〒731-0138　広島県広島市安佐南区祇園4-50-6
TEL: 082-850-1171　FAX : 082-871-3610
札幌・仙台・新潟・郡山・埼玉・千葉・神奈川・東京
甲府・長野・静岡・名古屋・大阪・広島・香川・福岡・鹿児島

実績と信頼
折り紙付き。



アサヒメタルアカウントシステム

SDGs取組実施

アサヒプリテックは、金属資源のリサイクル事業の分野で、独自技術により
皆様から絶大な信頼をいただいており、業界をリードするシェアを実現しています。
また、お預かりした金属の分析から売却までをWeb上で安全に運用できる
「アサヒメタルアカウントシステム」の提供など、貴金属リサイクルをトータルでサポート。
歯科業界における資源循環サイクルを実現しています。

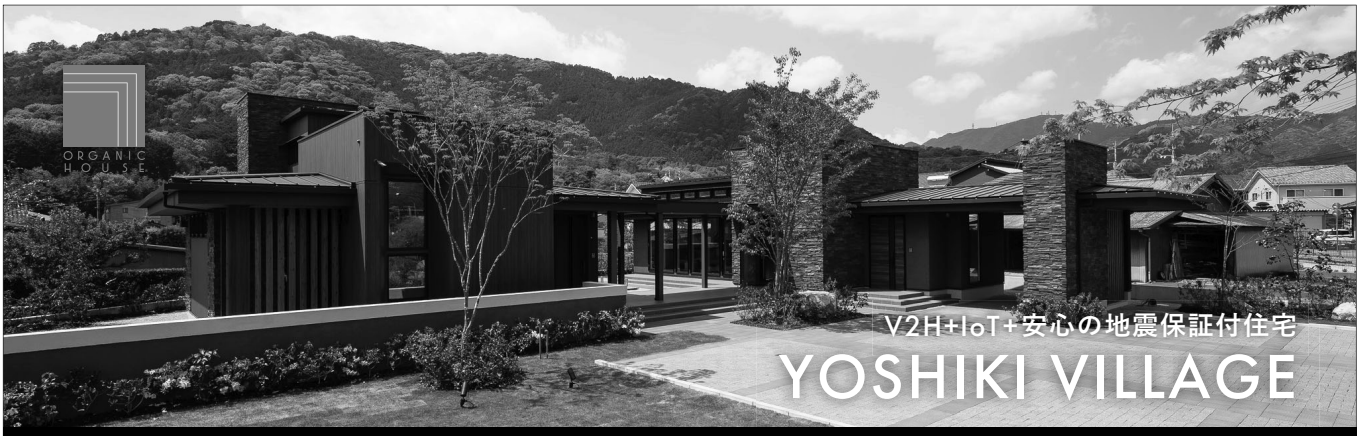


※「シェア」については、2025年度の金属リサイクル取扱量ベース（自社調べ）
※「独自技術」については、当社創業以来、長年にわたり蓄積した事業ノウハウおよび自社開発設備による。

ASAHIPRETEC

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部／〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F
TEL:03-6270-1820　FAX:03-6270-1825　URL:https://www.asahipretec.com/
営業所　札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・神戸・岡山・広島・福岡・鹿児島・沖縄



オーガニックハウスは、フランク・ロイド・ライトの建築美学を継承し、美しい暮らしを提供するためにデザインされています。

吉敷モデルハウス
山口県山口市吉敷赤田１丁目14-24
083-902-2610
営業日：毎週　金・土・日
平　日：事前予約にて個別でご対応

本社
オーガニックハウス　FSM 山口中央
波多野建設株式会社
山口県萩市大字椿東字玉太郎1046-13

Website　公式 LINE　Instagram



まもなく創業100周年。

中四国エリアで5700件以上のお得意様にご愛顧頂き、国内外100社以上のメーカー様に支えられ、
10ヶ所の拠点で 日々お得意様に寄り添い、共に歩んで参りました。



これまでも、これからも
地域歯科医療を支える信頼のパートナーに。
株式会社 玉井歯科商店

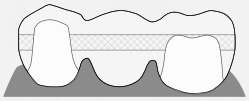
Insurance Covered 2026.6.1～

CAD/CAMブリッジ（高強度硬質レジンブリッジ）





グラスファイバーを含むレジンブロック
芯材に質量分率 65％以上のガラス繊維を使用。



ブリッジの断面図（イメージ）

和田精密歯研株式会社
Wada Precision Dental Laboratories Co.,Ltd.
徳山営業所　〒745-0801　山口県周南市大字久米 1412-1

お問い合わせ